

子供は特にそうだ。何もかもスポンジの様に吸ひ出し、すぐに
自分の栄養としている。いいところも悪いところも、すぐに真似してやる。
真似してやり、それから自分にいいことだけを干渉する。
それや、し、自分を形成してゆく。大人も同じ。
どんだけ受け入れ、すばしと吸ひ出し、と、どん欲に、向上して
立ち姿からして、いい影響を与えることのできる根付く大人に
なりたい。ヨガの先生はヨガがし、気功の先生は気功がし、
フリの先生はフリがし、やはり、その道に必要ならスピリットを
栄養にしてその道の達人へと近づいてゆく。先人たちのいい部分を
どん欲にとりこんで、失敗しながらも、その道を極める人にな
り、ゆく。ジエンバフオウは、人間的にはすばらしい、すばらしい人が
いっぱい居る。それは、アフリカの文化を背景にした、大きな
じや、ダンスから養、た、カン、じを読むか、セラピー、
コメディ、ダンスの動き、人を笑わせるしぐさ。僕の目指すところ
姿がそこにある。やさしさもパワーも兼ね備えた理想の姿が
そこにはある。その人はその人、身のまわりにも大変なことでも走
きこえるかもしれないが、何んかの尊敬するジエンバフオウの
人達の光陰に、その人たちの姿を見、憧れた。今、自分の形成がある
あまなりた。あまいろいろにした。向上心という欲は、悪い
欲ではな。様だ。あまいろいろ大人にだけはなりたいなと
思わわな。様。うりな。正直にすばしに生きていきたい。
それ、これから、子供の様に、すばしと吸ひ出し、栄養として、
土に足をつけ立、こぼした。子供と一緒にいると、
いろんな事を学ばせられる。感謝、のす。